



特集

## HOW TO 図書館

意見交換会

一般質問

常任委員会報告



らしさ、かがやく。

坂井市

LINE 公式アカウント

坂井市の最新情報を日々発信中!

こちらの二次元コードから  
「福井県坂井市」を友達に追加 ▶





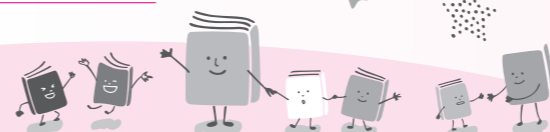
特集

# HOW TO 図書館

## 本を 読もう!

### 空前の本離れ!? なんと 大人の62.6%が本を読まない。

本を読めば、視野が広がる、想像力や表現力、コミュニケーション能力が磨かれる、ボキャブラリーが増える、論理的な思考力や集中力などが身につくなど人生豊かに! 議会も図書館活用をお勧めします!



図書館へ取材に行ってみた!

## 意外と知らない図書館のこと 聞いてみた!

### 借りるだけじゃない! 多彩なイベント

**Q1** 本を借りるときは、  
どうしたらいいの?

**A** 本などを借りるには、図書利用カードが必要です。各図書館内カウンターで申請書を記入し、身分証明書(運転免許証、保険証、マイナンバーカード、学生証など)とあわせて提出してください。赤ちゃんから利用カードを作れます。

**Q2** 本は何冊まで、どれくらいの  
期間借りられるの?

**A** 10冊まで本や雑誌、紙芝居などを最大2週間借りることができます。

**Q3** 開館時間内に  
返却できないときは  
どうすればいいの?

**A** 24時間返却可能なポストが各図書館に設置されています。借りた本や雑誌は市内どの図書館でも返却可能です。カウンターでは県立図書館で借りた本も貸出期間内は返却することができます。

**Q5** 図書館の予算は  
どれくらいあるの?

**A** 令和6年度図書館管理運営事業や記念文庫等管理運営事業費など合わせて1億5,647万円です。図書の購入やイベント、各記念文庫の収集整理、保存などを行っています。

**Q4** 読みたい本が  
見つからないときは?

**A** 市内図書館や県内外の提携図書館から探すことができます。

### めざせ! 図書館マスター ジュニア司書養成講座

大人気

対象

小学校 4年~6年  
令和6年度の図書館マスターは9名。認定バッジをもらえ図書館で体験できる。



### めざせ! どくしょめいじん!

大人気

誰でも参加OK!

本を借りてスタンプ4個で認定証がもらえ友達に自慢できる。



### 借りる本の福袋!

お正月限定

テーマに沿って司書などが厳選した3冊入り。

読み終わったら返してね!



### 坂井市内4町にある 図書館の特色

**三国** 蔵書数 142,748冊  
年間貸出数 145,594冊

年一度の古本市



住所 坂井市三国町神明1丁目4-20  
TEL 0776-81-2900

**丸岡** 蔵書数 187,982冊  
年間貸出数 146,143冊

充実の文学コーナー



住所 坂井市丸岡町霞町3丁目10-1  
TEL 0776-67-1500

**春江** 蔵書数 202,594冊  
年間貸出数 294,881冊

ハートピア春江併設 広い児童書コーナー



住所 坂井市春江町西太郎丸15-22  
TEL 0776-51-8810

**坂井** 蔵書数 106,265冊  
年間貸出数 202,221冊

豊富な漫画コーナー



住所 坂井市坂井町下新庄12-3-1  
TEL 0776-67-2666

Check!!



一部取り扱いが違うものがありますので坂井市立図書館の詳しい利用案内やお知らせはホームページでご確認ください。







## 主な質疑内容

### 三国病院

- Q** ドクター確保の現状は。
- A** 特に必要な内科、整形外科、産婦人科を中心に福井大学への訪問活動を定期的に行っている。令和5年度は整形外科医が1名派遣されている。
- Q** 人間ドックの企業実績は。
- A** 令和5年度は15社を受け入れた。外来と同時進行しているため、1日当たり2、3人が限度であり令和6年度については予約上限に達している。

### 教育委員会

- Q** 子どもたちへの生成AⅠ活用授業の考えは。
- A** 生成AⅠは便利だが、子どもたちの創造性や考える力を重視したい。フェイクニュースなどの危険性もあり、活用については慎重に取り扱うべきと考えている。
- Q** 学校の使わなくなったプールの今後の計画は。
- A** 全小学校の水泳授業が屋内温水プールに移行するめどが付いた段階で、太陽光発電、駐車場など利活用について家庭・地域・学校協議会などの意見を伺いながら計画していきたい。
- Q** 部活動の地域移行の進捗は。
- A** 令和6年度は26の部活動、令和7年度までに現在の78の運動部、文化部の地域移行を目指している。
- Q** 金属片混入防止のため、学校給食の機械器具の日常点検は。
- A** 基本的には目視で包丁や機械の刃こぼれチェックを行っている。また今後マニュアルを整備し、機械の耐用年数や更新についてもしっかり調査していく。

### 健康福祉部

- Q** 産後ケア事業の案内は。
- A** 出生届提出時に事業の冊子とチケットをあわせて配布し、赤ちゃん訪問時に再度伝えている。
- Q** 独居老人の将来の不安にどう応えていくのか。
- A** 高齢福祉課と地域包括支援センターが連携対応し、内容によって必要な機関へつなぐ。福祉総合相談課のアウトリーチ支援事業では民生委員からの情報を受け職員が出向いている。

## 請願・陳情

陳情 第3号	坂井市内の小中学校の給食時間の対面給食の回数を増やすように求める陳情書	不採択
-----------	-------------------------------------	-----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

### 【主な意見】

- 給食時間を楽しいものになりたいという思いは理解できる。
- 生徒の意見が大切。現場に委ねたい。
- 担任が自分のクラスの状況をよく理解している。現場の判断でやっていただければいい。



▲学校の使用されなくなったプール



## 主な質疑内容

### 総務部

- Q** 本市の運転免許自主返納は、過去5年間で、どのように推移しているのか。
- A** 令和元年から令和5年まで、年々増加傾向にある。特に令和5年度は、281人の申請があった。運転免許自主返納と行政支援手続きのワンストップ化を実施したことで、申請者が増えたと感じている。

### 総合政策部

- Q** 本市のアンテナショップは、移住就職支援のPRをしているか。
- A** パンフレットの設置や、アンテナショップ職員に対して移住支援金など市の施策について説明会を開き、問い合わせに対応できる体制を整えている。
- Q** 空き家無料相談会の内容は。
- A** 事前申し込みで内容を把握し、司法書士や宅建士、アーバンデザインセンターに分けて相談を受けている。さらに令和6年12月はオンライン相談もあり、県外からの相談も可能である。

### 財務部

- Q** 実質交付税の今後の見通しは。
- A** 国の動向や景気などもあり、見通しを立てることは難しいが、短期間で交付税が大きく減額になることは考えにくい。  
本市の特徴として、公債費の合併特例債償還費が大きく影響している。公債費も一定の需要額が続くことから交付税も令和10年度までは大きな減額にならないと見ている。

### 生活環境部

- Q** 10代の若者から消費者センターへの相談件数は、成年年齢引き下げ後どうか。
- A** 令和2年度の相談件数は14件、令和3年度は16件、成年年齢引き下げ後は、令和4年度に10件、令和5年度は7件と本市では増加傾向は見られない。さらに消費者センターでは、中高生に対しチラシの配布や巡回展示などを通して消費者トラブルの注意喚起をしている。また、小・中・高等学校では、授業を通し段階的に学びが進められるなど今後も情報発信と啓発活動に取り組んでいく。
- Q** ゼロカーボン市民ワークショップでの市民からの意見や、作成したプランは今後どのように活用するのか。
- A** ワークショップで出されたアイデアや工夫は、今後の事業の施策の参考とするほか、令和6年11月16日の環境市民フォーラムで、市民が考えるゼロカーボンを市民に向けて発信するなど有意義に活用したいと考えている。



▲ゼロカーボン市民ワークショップの様子

# 令和6年度 一般会計9月補正予算概要

補正額 **6億2,650万円** (補正後の額 473億6,961万円)

令和6年度一般会計補正予算(第3・4号)を議決しました。  
ここには主な事業を掲載しています。



詳細はこちら▶



**企業立地促進事業 2億1,761万円**

工業の振興、雇用機会拡大のため、一定規模の工場などの新增設や新規雇用を創出した企業に助成するための費用を計上。

**次世代型地域交通運行事業 594万円**

イータクを竹田地区まで拡大することなどの需要拡大を見込んで、車両増車や予約アプリの機能強化のための費用を計上。

**地球温暖化防止対策事業 714万円**

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化の防止や再生可能エネルギー普及を推進するための費用を計上。

**丸岡城国宝化推進事業 400万円**

丸岡藩誕生400年記念イベントの開催にあたり、来場者に坂井市の魅力を知ってもらう機会を創出するための費用を計上。

## 定例会審議結果

### 全会一致となった議案と議決結果

議案番号	件名	審議結果
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申
議案第39号	令和6年度坂井市一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第40号	坂井市丸岡総合福祉保健センター空調設備改修工事請負契約の締結について	可決
議案第41号	令和6年度坂井市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第42号	越前三国競艇企業団規約の変更について	可決

### 賛否が分かれた議案一覧

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 -…原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席 審議結果	議員氏名																						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
議案第43号	坂井市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情第3号	坂井市内の小中学校の給食時間の対面給食の回数を増やすように求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	-	×	×	×	○	×	×	×	×	○		

### 主な質疑内容

#### 産業政策部

- Q** 畜産経営支援事業における畜舎改修の概要は。  
**A** ブランド牛(若狭牛)の生産拡大のため、現在の畜舎の空きスペースを改修するとともに、肉質向上のため、1区画に入る頭数を6頭から3頭にする予定である。
- Q** 観光ビジョン戦略事業の多様な宿泊施設整備支援事業について、どの地域で予定しており、すでに改修した施設の稼働状況は。  
**A** 一般改修は、三国の新保地区、米ヶ脇地区、丸岡の竹田地区でそれぞれ1カ所である。  
新規開業改修は、三国の緑ヶ丘地区、三国湊地区でそれぞれ1カ所を予定している。直近で改修した一部の施設では令和6年8月の稼働率は約9割になるなど、改修後の稼働率は上がっている。
- Q** 新幹線が開業して半年になるが、市内の観光地への影響はどうか。  
**A** 各観光地への入込状況は、1割から2割増えている。観光客の割合は、関西、中京がメインで関東からも増加している。今後も誘客のためPRを強化していきたい。
- Q** 観光地における洋式トイレの整備計画と清掃頻度は。  
**A** 改修のタイミングで和式から洋式トイレに順次進めている。県の施設についても洋式化の要望を出している。  
屋内の清掃は毎日実施している。今後、屋外についても利用者に不便をかけないように考えていきたい。

#### 建設部

- Q** 新幹線対策事業の排水路改修工事の内容は。  
**A** 地元の条件整備工事のうち、鉄道運輸機構による工事対象とならない排水路について、県の補助金により護岸の補修を実施する。
- Q** 一般県道福井森田丸岡線と市道沖布目森田線の工事の進捗状況は。  
**A** 一般県道福井森田丸岡線は、軟弱地盤対策工事を実施しており、道路境界の擁壁の工事を進めている。市道随応寺末政線の迂回路は10月頃着工予定である。  
市道沖布目森田線は、今後、用地買収を進めて、事業進捗を図る。令和6年度予定の工事施工箇所は、確実に仕上げていく。

#### 坂井市水道ビジョン計画と水道水の水質管理の状況は。

- A** 水道ビジョンとは、本市の水道事業が目指す未来を明示し、その実現に向けて令和2年度から令和11年度までの10年間に取り組む方策を示した計画で、現在、おおむね順調に進んでいる。また水道ビジョンの見直しは、令和10年から検討に入る予定である。

水質管理については、毎月、市内22カ所の水源地を巡回点検している。水道法に基づく水質検査を実施しており、厳重に管理している。



▲市内の牛舎で育てられている若狭牛



**住民参加のまちづくりの推進を**

**Q** 令和6年度に行われた「さかい未来創造座談会」では、主にどのような意見や要望が出されたか。

**A** 令和6年度からスタイルを変えて地区単位の座談会から移住者や商工業者などの分野ごとに若い世代を対象に開催している。移住者からは住んでみてよかったことを中心に意見を聞き、まちづくりカレッジの高校生からは通学路の夜間照明や探求学習に関する意見などを聞いた。

**Q** 令和6年度から市内23地区を対象にスタートした「まち未来トーーーク」の主な内容は。

**A** 住民同士が対話を行うワークショップとして、これまで11地区で開催した。地域の強みを伸ばし、弱みを克服するためにどうするとよいのかを、ウェルビーイング8つの指標に照らし合わせて書き出し、課題と改善方法を話し合っている。



▲まち未来トーーークの様子

**路線バスの減便に対する対策を**

**Q** 市内の路線バス減便について、長期的な視点での取り組みが必要と考えるが、どのような支援策を行っているのか。

**A** 運転士不足の解消策として、県と合同で運転士確保に向けた合同就職説明会や運転体験会の開催を検討している。今後は減便後の動向を見ながら、県と協調して取り組んでいきたい。

**本格的な新幹線時代の到来に伴う、えちぜん鉄道の未来志向の活用を**

**Q** 快速列車の運行について、県や沿線市町とも協議・連携し積極的な検討を要請すべきと考えるが、市長の見解は。

**A** 本格的な快速列車の運行には線路の複線化、新たな車両の導入など莫大な設備投資が必要となり、現時点では難しいと回答されているが、快速化も含め、今後経営面でもいろいろな意見を言っていきたい。

**併せて、安全・安心な運行の継続も強く求めたい。**

**Q** えちぜん鉄道の未来志向の活用を真剣に議論すべき時期に来ていると思うが、本市の見解は。

**A** 駅周辺での人口の集約化をはじめ、公共交通を身近に感じる、また魅力ある、そして住んでみたい



▲一部複線化されている西長田ゆりの里駅に到着のえちぜん鉄道



辻 人志



鍋嶋 邦広



市政のここが知りたい

一般質問

令和6年9月9日～11日の3日間：15人

次ページからは、質問項目中の特に市民の皆さまへお届けしたい内容を掲載しています。

全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

一般質問ってなに？

定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めするために質問することです。

【通告一覧】

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
辻 人志	(1) 住民参加のまちづくりの推進を (2) 相次ぐ路線バスの廃止や減便についてその対策を問う	8	永井 純一	(1) 市施設のLED化について (2) 木造住宅の耐震化について	12
鍋嶋 邦広	(1) 北陸新幹線県内開業半年を経過した現時点での本市における開業効果と課題及び今後の観光戦略について (2) 本格的な新幹線時代、高速鉄道(時速200キロ以上で走行できる鉄道)時代の到来に伴う、えちぜん鉄道の未来志向の活用について (3) マイナンバーカード保有枚数率アップ(100%達成)に向けて	8	山田 秀樹	(1) 歩道のバリアフリー化	12
川畑 孝治	(1) アンテナショップについて (2) 大規模災害時、被災家屋解体・処理に関する条例を作成すべきでは	9	田中 哲治	(1) 本市の食と農の現状と将来像について (2) 本市の農福連携事業の現状と今後の考え方について	13
岡部 恭典	(1) 相続登記の義務化と空き地の管理について	9	畑野麻美子	(1) 老人福祉法に基づいて、高齢者対策を・・・ (2) ふるさと納税からなる寄附市民参画制度による寄附金の使い道についての市民への周知と小さな団体への支援枠をつくり地域活性化を図ること	13
後藤 寿和	(1) GIGAスクール構想第2期と教育現場における生成AI (2) GREEN FLASH FES 2024の総括	10	上坂 健司	(1) 幸せ実感 先進地域を目指して (2) 災害教訓を得た、対策について	14
佐藤 岳之	(1) 市職員の安全な就労環境の確保について	10	林 豊夏	(1) 文化振興のために、市民ホールの利活用について	14
廣瀬 陽子	(1) 集落の維持・活性化に向けた取組を	11	松本 朗	(1) 食料・農業・農村基本法と地場産農産物の給食供給 (2) 学校給食方針を検証するー教育委員会は、どうしようとしているのか。学校給食のあるべき方向は、子供、保護者、市民が一体となって決めるべき重要問題	15
伊藤 宏実	(1) 歴史的風致維持向上計画について	11			





川 畑 孝 治

孝 治



アンテナショップについて

開設目的は。

本市の魅力为首都圏の人々にPRし、認知度の向上や移住定住の促進、観光誘客、300種以上の市産品の販路拡大などである。

情報発信になっているのか。

季節のフェア開催や、ふるさと納税の受け付け、オリジナルメニューの販売などを情報発信し、品川区の広報紙やマスコミにも取り上げられるなど本市の魅力为首都圏に発信している。

本市の魅力ダイレクトに伝えるために大型モニターを設置できないか。

現在のモニターはインパクトに欠けるため、大型モニター設置について令和7年度予算に向けて検討したい。

大規模災害時、被災家屋解体・処理に関する条例を策定すべきでは

大規模災害からの復興は災害廃



品川区の坂井市アンテナショップ

棄物・被災家屋の速やかな撤去が必要となる。

令和6年能登半島地震では、公費解体の申請に隣接者の同意を求めているため、解体・撤去が進んでいない。

条例を策定すべきでは。

国では、特定非常災害に指定された場合、全壊・半壊した建物などについては、災害対策基本法に基づき、承諾がなくても解体・撤去できるとされていることから、条例策定の必要性は低いと感じる。

相続登記の義務化と空き地の管理課題は

相続登記が義務化になったが義務化の周知と推進方法は。

相続人に対し、相続登記の義務化のチラシを送付し、窓口での相談説明、広報紙での周知を図っている。

また、法務局との連携、協力によりさらなる周知を図りたい。

所有者不明の土地の地目別の件数と面積および固定資産税、相続放棄による土地の状況は。

全体で237筆18万7000平米あり、宅地57筆1万1782平米、田畑94筆7万4370平米、山林54筆8万8439平米となっている。

これにより賦課できていない固定資産税は、おおむね100万円程度と試算している。

全てが相続放棄などにより相続人が不存在となっている土地である。



岡 部 恭 典

恭 典



空き地は近隣住民にとって環境、衛生、防犯上大きな問題となっているが空き地の適正な管理の考え方は。

所有者不明の空き地については、対策、対応ができていないのが現状であるが、今後、国においても法律改正などが予定されており、国の動向を注視しながら、市としての対策、支援について検討していきたい。



所有者不明土地の現況



後 藤 寿 和

寿 和



GIGAスクール構想\*第2期に向けて

タブレット端末のバッテリー劣化やOSサポートの問題から更新が必要だが今後の計画は。

令和7年度中の端末の更新に向けて検討をしている。

今回はOSごとにも県の共同調達にて端末更新を行うため、現場の意見を聞き、慎重に進めている。

学校内の通信ネットワークに遅延や不具合でつながりにくいなどの障害は起きていないのか。

令和5年度に中学校で無線アクセスポイントの増設や光回線の2回線化を実施した。

小学校に関しては調査を実施して随時対応していく。

GREEN FLASH FES 2024の総括



来客数、県内外の割合は。

来客数は約8千人であった。

県内が約70%、県外が約30%で、



GREEN FLASH FESのステージの様相 (芝政ワールド)

令和5年度と比べると、県外の割合が約15ポイント増であった。

FESによる経済波及効果はどうか。

約5億1千万円と試算している。次回の開催予定は。

アーティストに本市の魅力を知ってもらい、自身のSNSで発信してくれるなど、非常に効果が大きいと感じているので、令和7年度は必ず実行したい。今後どうするか、いろいろなことを含め議論していく。

\*GIGAスクール構想：学校に1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備することで、主体的、対話的で深い学びの実現を目指す構想



佐 藤 岳 之



市職員のために安全な就労環境を

これまで、不当要求行為等防止対策要綱に基づき対策委員会の開催に至った事案はあるか。

複数日にわたり、夜に宿直室に電話をかけてきたり、押し掛けて暴言を吐いたり、恫喝的な態度を取るという事案が1件あった。

令和6年4月に実施した職員の名札の書式変更の意味、背景は。

市民から名札の文字が小さくて見づらいという声や、職員からは、名札から氏名を覚えられ、SNSにいたずら投稿されたことがあるという声があったことから、名札の表記をフルネームから名字のみにし、文字も大きくした。

今後、トラブル防止や市民サービス向上の観点から、職場に防犯カメラや録音機能を持った電話機の設置が必要と考えるが、市の見解は。

防犯カメラについて、正面玄関



市が複数台所有している通話録音装置

など施設の管理上必要な箇所に設置しており、受付窓口などの職場への設置は、プライバシー保護の観点などから、現在は考えていない。

録音機能を持った電話機は、現在のところないが、電話機に取り付けることができる通話録音装置を複数台所有している。

今後、先進事例などを参考にしながら、録音機能を持った電話機の設置の必要性も含め、費用対効果などを調査研究していきたい。





## 廣瀬 陽子



集落の維持・活性化に向けた取り組みを



**Q** 限界集落、準限界集落に対し、どのような対策を講じているか。

**A** 市内439区のうち388区で集落カルテを作成し、区の課題を把握している。

**Q** 集落カルテはどのように活用しているのか。

**A** 「住民ワークショップ」や「自治会みらいミーティング」で集計データを提示したり、庁内で共有し施策立案の基礎資料として活用している。

**Q** 各集落カルテの内容は、各集落の人たちが確認できるのか。

**A** 区固有のデータや作成当時の区長の意見などの記述があることから、非公開が前提であるが、現状を集落内で共有することは必要だと考えている。  
区から申し出があれば、区長の意見などに配慮し、渡すことは可能である。

**Q** 集落外へ転出した人の力を借りることで、課題解決につながることもあると考えるが、転出した人へ集落カルテの内容を伝えるための対策は。

**A** 集落カルテから見える課題解決に向け、集落の人たちが転出した人たちに共有し課題解決に役立てていただきたい。  
市は、集落の課題解決に向けて、最初の背中を押すようなアプローチに取り組みたい。



▲住民ワークショップの様子



## 永井 純



市施設のLED化を早期実現へ！



**Q** 2027年末、全ての蛍光灯の製造、輸出入が禁止される。そこで市施設のLED化の進捗率と今後の整備に係る事業費を伺う。

**A** 進捗率は整備済み47%、一部整備済み37%、未整備16%である。未整備施設の事業費は、小中学校約5億円、幼稚園など約5千万円と見込んでいます。

**Q** 今後のLED化のスケジュールと事業費の確保について見解は。

**A** 本市や他の公共団体、民間企業、一般家庭においても、LED化は加速すると予想される。そのため、資材や工事業業者の確保などの問題点が考えられる。そのことを踏まえ、計画や予算確保について検討し、早期実現に向けて取り組む。

木造住宅の耐震化を急げ！！



**Q** 本市の木造住宅の耐震化率と現状に対する認識を伺う。

**A** 本市の耐震化率は令和2年度現在86.1%と推計する。  
耐震診断の補助は平成17年度から令和5年度までに366戸、耐震改修補助は平成20年度から令和5年度までに53戸である。改修費用の個人負担が大きく改修に至らないと認識している。令和6年度、耐震改修費用を120万円から150万円に拡充している。  
さらなる拡充を検討し進める。



▲坂井市役所のLED照明



## 伊藤 宏実



歴史的風致維持向上計画について



**Q** 本市の計画において、丸岡城周辺と三国区域の2つを重点地区と定めた理由は。

**A** 重点地区の条件として重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡名勝天然記念物のある区域となっていることから、要件を満たす三国地区と丸岡城周辺を重点地区として定めた。

**Q** 重点区域の事業の進捗は。

**A** 丸岡城周辺では城山整備基本構想策定に向けて委員会を開催し、三国区域では神社例祭調査として三國祭の記録を行った。  
さらに、両地区とも無電柱化に向けて業者を選定し現地確認を行った。

**Q** 重点区域以外の残りの4つの地域において、どのように進めているのか。

**A** 既に策定している本市文化財保存活用地域計画などに基づき、必

要な調査研究、地元住民の機運醸成、歴史的風致の情報発信などを行って行く予定である。

**Q** 事業の全体を本市文化観光推進本部で統括しているが、事務局はどの部署が担っているのか。

**A** 十分に統括されているか。  
推進本部の事務局は企画政策課が行っている。  
また、連携・調整は十分に図られている。

**Q** 専門部署の設置や専門職員の育成が必要ではないか。

**A** 推進本部を中心に運営し、専門職員の育成は検討していく。



▲歴史的風致維持向上計画の根拠になっている歴史まちづくり法パンフレット(国交省公表)



## 山田 秀樹



歩道のバリアフリー化を！



**Q** 押し車を押すシニア世代やベビーカーを押す子育て世代、車椅子利用者などに優しい歩道の見直し計画は。

**A** 学校や地域の要望により、国の補助事業を活用し、市道のセミフラット化※整備を行っている。  
**Q** 市内の国道や県道の歩道整備は。

**A** 国や県に対し要請していきたい。  
**Q** 坂道の歩道へのシニア対策は。  
**A** 低いスロープ設置が考えられる。  
**Q** 歩道にベンチを配置しては。  
**A** スペースがあれば地域の声を参考に検討していきたい。

**Q** 歩道の雑草対策は。  
**A** 民地から伸びている雑草は土地の所有者、歩道部分は市が行う。雑草対策に地域協力が得られるのであれば除草剤支給を検討したい。

**Q** 歩行空間確保のための無電柱化は。  
**A** トランスなど歩道への機器設置により広さは変わらないと考え



▲効果的に配置されている歩道のベンチ

※セミフラット化：道路の表面を平坦化すること





## 田中 哲治



本市の食と農の現状と  
将来像は



**Q** 伝統野菜（三年子らっきょう・越前白茎ごぼう）の現状と、畜産農家に対する支援は。

**A** 現在、三年子らっきょうの収穫量は約14万6千トンと減少傾向にある。

今後、新規就農も含め管理圃場を増やしていく。

越前白茎ごぼうの収穫量は約500kgと増加傾向にある。

今後、市内のイベントや品川区の市アンテナショップなどでPRし、新たな商品開発に向けて研究を進めていく。

畜産農家への支援は、自給飼料生産拡大や規模拡大に要する設備などの導入、子牛仕入れの支援を実施している。

**Q** 本市の農福連携事業の現状と今後の考え方は



**Q** 農福連携事業の普及実態と今後



▲越前白茎ごぼうの種を植える大石小学校の児童と三年子らっきょう

の考え方は。

**A** 障がい者福祉計画にある「生きがいにつながる社会参加の支援」として、障がい者相談支援事業で就業などの支援をしている。

また、就労継続支援B型事業所では、露地野菜や果樹など出荷調整や販売などを担い、利用者は約50人である。

今後、農業の楽しさに理解いただけるよう、利用者の希望や状況に応じ、担い手不足や新たな働き手の確保に取り組む。



## 畑野 麻美子



老人福祉法に基づいて、  
高齢者対策を...



**Q** 「わがまちの認知症計画」の策定を求める。

**A** 高齢者福祉計画の中で、認知症との共生と予防を推進項目に掲げて取り組んでおり、認知症基本法の基本的施策になっている。

**Q** 多様な高齢者の住まいのひとつとして、生活支援ハウスの整備を提案し求める。

**A** 令和6年度から、「居住支援連絡会」を立ち上げ、住宅確保要配慮者の支援を強化していく。

**Q** ふるさと納税の使い道について市民への周知と小さな団体への支援枠をつくり地域活性化を図ること



**Q** 市長におまかせの使い道は。

**A** 9つの施策で募集している寄附事業のいづれかに活用している。市長におまかせの使い道を、小



▲認知症啓発パネル展（坂井市役所内ロビーにて）とロバ隊長 認知症サポーターキャラバンのマスコット

さくても頑張っている団体への事業に活用できないか。

**A** 任意の事業に活用できないため団体の事業提案が必要である。

**Q** ふるさと納税の市民への周知と使い道についても、広報などで紹介する必要があるのではないかと

**A** 寄附金の活用額を含めた取り組み内容をオリジナル冊子などで公表するなど、広報活動にも取り組んでいる。



## 上坂 健司



幸せ実感  
先進地域を目指して



**Q** 地方創生を礎に、幸せ実感目標の実現に向け、全身全霊の取り組みを求める。

**A** 課題は人口減少であるが、明るい材料としてこれからの世代である高校生の本市にかけの意気込みが芽吹き育ってきている。

幸福の実感をいかに高めるかを視点と考え、自分らしく生きる、過ごせる地域づくり、地域共生が本市の特徴であるので維持・発展させていくことが目指す方向性である。

災害の教訓を得た対策を



**Q** 防災DXの取り組みは。

**A** 市の防災訓練において、区長から市に対する安否確認を行う際、LINEアプリを通じて手軽に行える仕組みを試行的に実施する予定で、令和7年度以降の本格運用



▲道の駅みくにふれあいパーク三里浜

に向けて取り組んでいく。

**Q** 地域コミュニティ活動拠点として使われている神社仏閣に対し、修復支援態勢の見解は。

**A** 熊本地震や能登半島地震では、県が復興基金を創設しており、その使い道の実績や活用などを参考に、調査・研究していく。

**Q** 道の駅を「防災道の駅」として、機能強化し、選定を目指しては。

**A** 防災機能を追加するための施設改修などが必要となり、大きな課題があると認識している。



## 林 豊夏



文化振興のために、  
音楽ホールの利活用を



**Q** 市内音楽ホールの稼働率と認知度はどうか。

**A** ホールの稼働率は、ハートピア春江大ホールが50・2%、みくに未来ホールは49・5%である。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した影響で、稼働率は回復傾向にある。

認知度については、ハートピア春江は30年近く運営しているため高いが、みくに未来ホールは移転から7年で、まだ十分に認知されていない。

**Q** 利用促進や若年層の利用拡大についての具体策は。

**A** 新規利用者向けには、練習パックや舞台演出プランを提供し、簡単に利用できるようにしている。特に若年層に向けては、市内小中学校や病院でコンサートを行い、文化に触れる機会を増やしている。



▲みくに未来ホールでのコンサートの様子

**Q** 市民参加型の取り組みは。

**A** ハートピア春江では「さかいのおんがくプロジェクト」を通じて、地域の有識者と共に若手演奏家の育成を進めている。

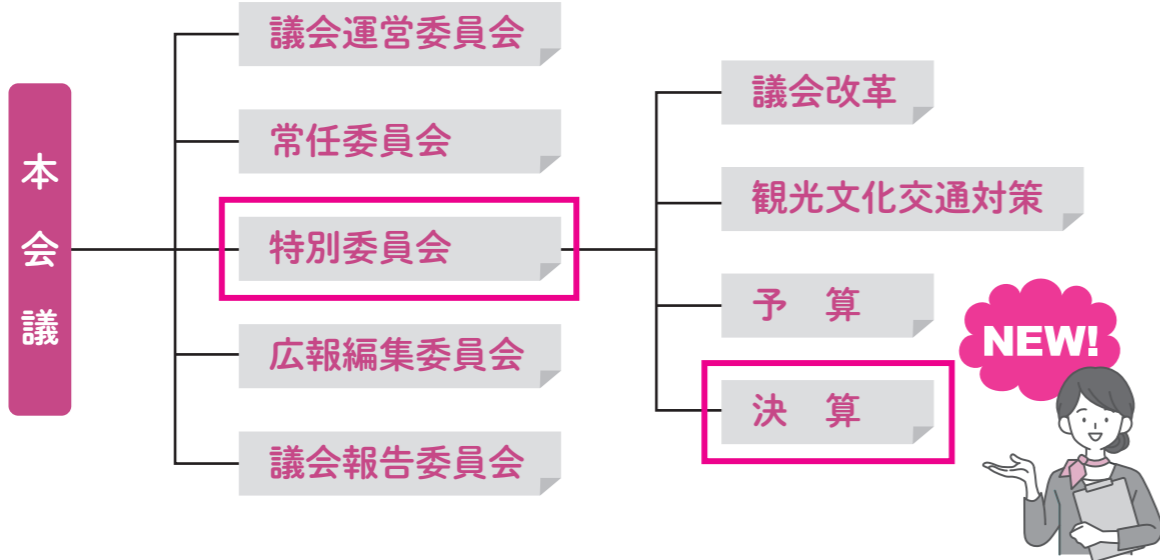
みくに未来ホールでも地域の音楽関係者と協力し、毎年音楽イベントを企画している。今後市民の声をより取り入れ、さらに魅力的な企画を進めていく。



# 特別委員会とは？



特別委員会は、特定の問題を審査・調査する委員会として常時設置されている常任委員会のほかに必要に応じて設置される委員会をいいます。



## ◆◆ 決算特別委員会を新たに設置しました。 ◆◆

委員会では、予算が適正かつ効率的に執行されたか、また、今後の行財政運営においてどのような改善工夫をすべきかなどに着眼し、「令和5年度坂井市一般会計」他6件の会計の決算審査を行いました。

### 委員紹介

委員長	前田嘉彦
副委員長	廣瀬陽子
委員	畑野麻美子
	永井純一
	川畑孝治
	佐藤寛治
	田中哲治
	上山健司
	岡田秀樹
	伊藤部恭典
	藤原宏実



### 審査日程

審査区分	日にち
設置	8月30日
所管審査	9月27日
	9月30日
	10月1日
意見整理	10月17日
	10月25日
講評	11月13日

※ 審査結果は次号でお知らせします。

食料・農業・農村基本法  
改定の懸念



松本 朗



Q 給食の在り方の検討状況は。

A 学校給食方針の決定は子ども、保護者、市民一体で



Q 学校、保育所などの給食材料の本市の地産比率をさらに高めるために、組織の育成が必要である。

A 農業者で構成するグループ同士の連携などにより、地場産品の供給が拡大できないかJAなどと検討する。

Q 非常に大事な目標であり、その内容を注視する。

A 食料供給困難事態対策法により、食料有事の際は、農業者に芋など特定作物の作付けを強制することになるが、当然だと考えるか。

A 非常時でも事業者や消費者が理解し、協力できるものでなければ、有効に機能しない。

Q 令和6年度に課題を整理し、令和7年度をめどに方針を検討する。

A 素案作りの段階から、子ども、保護者、市民を加えるべき。

A 平成28年度にまとめた報告書を基に検討し、学校給食従事者を中心としたワーキングチームを立ち上げ、課題の整理を行う。

A 保護者などの意見を聞くことは大切であり、実施の仕方を検討する。

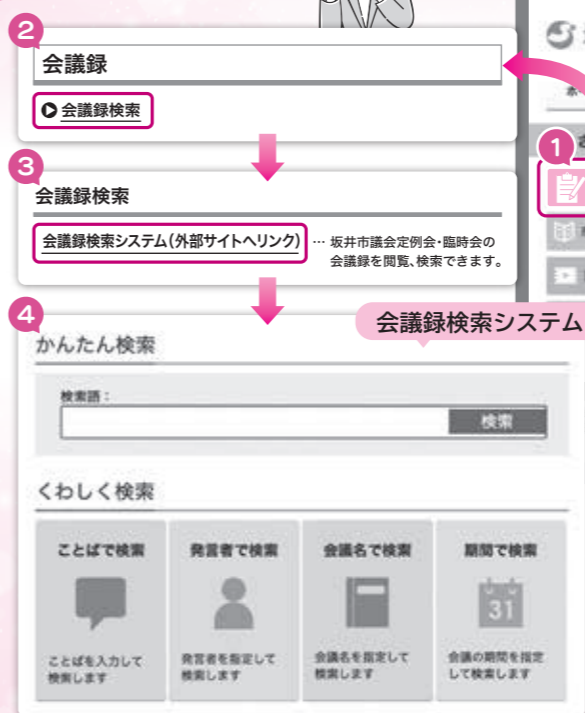


▲ 三国学校給食センターの外観

## 会議録検索ができます！

坂井市議会では、定例会・臨時会の会議録の閲覧や検索ができるように会議録検索システムを導入しております。会議録を簡単に検索できますのでぜひご利用ください。

坂井市議会ホームページ



### 会議録検索システム

条件を絞り込んで検索できます。かんたん検索でキーワード検索したり、ことば、発言者、会議名、期間で検索できます！

一般質問は、市ホームページから動画で視聴することができます。https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/gikai/hoso/ また、二次元コードを読み取るとYouTubeにアップロードされた各議員の動画を見ることができます。



## インターン生を受け入れました

後藤議員と林議員が8月からの2カ月間インターンシップとして、5名の学生さんを受け入れました。インターン生は本会議や委員会の傍聴などを行い、議員に密着して議会活動などについて学びました。そのインターン生よりインターンシップの感想をいただきましたので抜粋したものを紹介させていただきます。



### Q 議員インターンシップを志望した動機を教えてください。

- ・通常のインターンシップではその企業の専門としていることしか経験できないけど、議員インターンシップはさまざまなことを経験できるためその経験を積むことで少しでも自分のやりたいことを見つけようと考えたからです。
- ・友人からの紹介とインターンシップに興味があったからです。

### Q インターンを通してどのようなことを学びましたか？

- ・議員さんが市民ファーストに多くのことについて考えていること。
- ・一般質問において、質問を受けた全ての方が事前に調べてある資料をもとに完璧に回答していたこと。
- ・臨機応変に対応することや事前に情報を集めておくこと。
- ・信頼性のある市民からのアンケートや意見を事前に集めておくことの大切さを知ることができたこと。

### Q 議会を傍聴していかがでしたか？

- ・市民に寄り添っていることが伝わりました。
- ・普段聞けない予算のことや政策の裏側を聞くことができて非常に興味深かったです。
- ・市をより良くしたいという思いを感じる議員さんが多くて安心しました。



▲傍聴している様子

### Q 議会や政治に興味を持ちましたか？

- ・議会はもっと難しいものだと思っていましたが、そんなことなく、また議会に参加したいと思いました。
- ・今まであまり知らなかった坂井市の議会を聞くととても面白かったため、住んでいる自治体の政治に関しても知りたいと思いました。

### Q インターンはどうでしたか？

- ・議員さんは堅苦しいイメージでしたが、もっと身近に感じることができました。
- ・議員さんは堅い人が多いイメージを持っていましたが、実際にお会いすると政治に関するさまざまな知識を教えてください、とても気さくに話しかけてくれ、堅いイメージが払拭されました。
- ・遠い存在というイメージがなくなり、議員さんに対する考えが変わる良い経験になりました。

## 意見交換会を実施しました



令和6年7月31日(水)、さかい男女共同参画ネットワークと意見交換を行いました。

戸板議長の挨拶から始まり、全体会のあと2班に分かれて、「地域における



男女共同参画について」「男性の視点からみた男女共同参画の現状について」の2つをテーマに、活発な意見交換を行いました。それぞれ意見交換会をしたのちは、グループ別に話し合われた内容を発表し、前川議会報告委員長による講評で締めくくりました。



意見交換会での主な意見

- 高齢化が進み老人会や婦人会がなくなっていく中で、今後、女性や若い人の参画が非常に重要になってくる。
- 市ではまちづくりカレッジなど、新しい地域人材の育成に努めている。女性や若い人にぜひ参加してもらいたい。
- 女性が引っ張っている地域もできてきているのではない。
- 男女共同参画はまず家庭から、その後地域へと広がっていくことが大切ではないか。
- 青年団や婦人会活動で、地区の生活環境を高めるように取り組むのはどうか。







# 議会連絡掲示板

## 議会と意見交換しませんか？

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています。  
坂井市議会では議会基本条例に基づき、さまざまな団体との意見交換会を実施しています。  
募集内容を坂井市議会ホームページに掲載しています。  
詳細は右の二次元コードからご覧ください。

こちらから  
ホームページに  
とびます！



## 議会を傍聴してみませんか？

事前予約は不要ですので、  
お気軽にお越しください。



### ★12月定例会会期日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29 10:00～ 本会議初日 (行政報告、議案説明など)	30
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9 10:00～ 一般質問	10 10:00～ 一般質問	11 10:00～ 一般質問	12 10:00～ 産業建設常任委員会	13 10:00～ 教育民生常任委員会	14
15	16 10:00～ 総務生活環境常任委員会	17	18	19	20 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	21
22	23	24	25	26	27 定例会 会期日程は こちら▶	

※ 日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市議会ホームページでお知らせします。

## 編集後記

元日の震災、9月の能登半島豪雨の被害を受けた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。そして一日も早い復興をお祈りいたします。

先日、地域の防災訓練に参加しました。避難訓練だけでなく、地域防災本部の立ち上げや倒壊家屋からの救出訓練が行われ、倒壊家屋からジャッキを使い救出する方法や屋根に穴を開けて救出する方法を学びました。

近年、多くの災害が全国で起こり、市民の皆さまの防災への意識の高まりを感じます。今回の訓練も参加者は真剣に話を聞き、訓練に取り組みれていたと思います。

坂井市では、「坂井市防災ガイドブック」が全戸に配布されています。ホームページでも確認できますので、お読みいただき、家族でも防災について話をする機会を作っていたいただければと思います。

(廣瀬 陽子)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。